

令和2年度
後期自己評価アンケート（高学年）集計結果

（集計人数：174名）

指標 = (Aの人数×4 + Bの人数×3 + Cの人数×2 + Dの人数×1) ÷ 全体の人数 × 2.5

1 学校生活をふりかえってのアンケート

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	学校は、楽しいですか。	54.2	36.9	7.7	1.2	86.0	87.8
2	自分のよいところを見つけたり、友だちのよいところを取り入れたりしながら、活動できましたか。	37.5	44.6	16.1	1.8	79.5	81.4
3	学習、マラソン、そうじ、委員会の当番活動など、根気強く続けることができましたか。	46.2	46.7	6.5	0.6	84.6	86.3
4	自分を高めるために、目標を立て、実現するために計画的に活動ができましたか。	65.1	29.5	4.8	0.6	89.8	87.8
5	総合的な学習の時間に積極的に関わって活動することができましたか。	57.2	31.3	9.0	2.4	85.8	89.1

<考察>

- ・項目4を除いて、すべての項目において、前期より若干下回った。特に項目2「自他の長所を見つける」においては、Aの子が減り、Cの子が増えている。授業の終わりでの「ふり返り」の場面や(帰りの会などで)、分かったことや自分や友達のよさなどに気付いたことを広めていく活動などをすることで、いいところに目をつけていくことが自然にできるようにしていきたい。
- ・4においては、微増ではあるが、昨年度から少しずつのびている。めあてを持つこと、またそれに向かっていくことの大切さを感じていると思われる。

2 <清明の子に関して> *清明の子 1 2について

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	自分から進んで先にあいさつをしていましたか。	46.1	35.9	15.0	3.0	81.3	81.5
2	だれにでも「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」が言えましたか。	57.7	34.5	7.1	0.6	87.4	83.1
3	授業中、指名された時、大きな声で気持ちよく返事ができていましたか。	24.4	51.8	18.5	5.4	73.8	77.4
4	自分から進んで友だちとかかわり、思いやりを持って接することができましたか。	64.3	31.0	3.0	1.8	89.4	86.2

<考察>

- ・項目1・2の「先にあいさつ」では、数値的には横ばいだが、Bの子が減り、Cの子が若干増えている。このままC・Dの方へ移行していかないよう来年度の課題とし、児童会も含めてあいさつを盛り上げていく必要がありそうである。
- ・項目3「返事」では、昨年度末に比べてもかなり落ちる。Aの子が10ポイント落ちている。低学年と同じく、清明で大事にしている「あいさつ・返事・くつそろえ」を意識できるよう指導していきたい。他の項目に比べてかなり落ちるので、重要課題である。
- ・かかわりや思いやりはAのこが10ポイント以上増えている。今年度大切にしてきた指導の成果だと思われる。低学年も含め、昨年度から比べても増えてきている清明の子のいい点である。

*清明の子 3 について

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	くつのかかとをそろえていましたか。	64.1	24.6	9.6	1.8	88	90
2	学校の決まりや自分たちで決めた学級の約束を進んで守ろうとしていましたか。	51.2	38.1	10.1	0.6	85	85

<考察>

- ・項目1「くつそろえ」は、概ね良いが、わずかに指標が下がっている。「きまりを守る」ことは、高学年としての責任から意識が高まった。
- ・項目2は横ばいだが、昨年度より上回っており、意識ができています。

3 授業に関して

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	授業では、正しい姿勢で集中して取り組みましたか。	32.1	50.6	15.5	1.8	78.3	78.5
2	授業では、学級の友だちと話し合う活動ができましたか。	66.5	26.3	6.0	1.2	89.5	84.7
3	授業では、学級で課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、友だちの考えや意見を聞きながら解決するなどの学習活動に取り組みましたか。	65.3	27.5	4.8	2.4	88.9	88.2
4	家では、進んで宿題をして、学年で決まった時間の家庭学習ができましたか。	52.4	35.1	10.1	2.4	84.4	82.4

<考察>

- ・項目1「姿勢保持・集中」は、横ばいだが、AとCが減りBが増えた。姿勢保持は各クラスの課題でもある。常に意識できるようにしたい。保健室から出ている「姿勢体操」を各クラスで朝の会などで取り組んでみるのもよいのではないだろうか。
- ・項目2「話し合う活動」はAが10ポイント以上増え、Cが5ポイント減っている。毎日の授業が子ども達の話し合い中心に進んでいることが分かる。授業改善の成果だと思われる。また項目3「課題解決学習」も定着している。
- ・項目4の「家庭学習」も若干上がっている。A・Bが微増し、その分C・Dが減っている。定着しつつある。しかし、C・Dの子への指導を今後継続していく必要はある。

令和2年度
後期自己評価アンケート(低学年)集計結果

(集計人数:139名)

指標 = (Aの人数×4 + Bの人数×3 + Cの人数×2 + Dの人数×1) ÷ 全体の人数×2.5

1 学校生活をふりかえってのアンケート

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	学校は、楽しいですか。	67.7	24.8	6.0	1.5	89.7	93.4
2	友だちのいいところをまねて、自分の活動に取り入れていくことができましたか。	54.9	36.1	7.5	1.5	86.1	85.7
3	学習、マラソン、そうじ、学級の係活動など、最後までがんばることができましたか。	70.5	20.5	8.3	0.8	90.2	92.6
4	自分の活動に「やってよかったな」と思うことができましたか。	71.4	23.3	4.5	0.8	91.4	93.7
5	総合的な学習の時間や生活科の学習などに、「もっとやりたい」という気持ちで学習することができましたか。	70.5	25.8	2.3	1.5	91.3	93.5

<考察>

- ・90程度のポイントはあるものの、すべての項目において前期の指標よりポイントが若干下がっている。前回のアンケートが休校明けで、学校が始まったことへの期待感が表れていたのに対し、半年の学校生活を経て感じていることが素直に表れていると思われる。昨年度末の集計と比べると概ね同等である。
- ・1のC・Dの子たちの気持ちをていねいに聞き取っていく必要がある。

2 <清明の子に関して> *清明の子 1 2について

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	自分から進んで先にあいさつをしていましたか。	39.8	39.8	18.8	1.5	79.5	85.4
2	だれにでも「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」が言えましたか。	57.1	31.6	10.5	0.8	86.3	89.2
3	授業中、指名された時、大きな声で気持ちよく返事ができていましたか。	57.1	33.1	6.8	3.0	86.1	90.3
4	友だち協力し合って活動したり、思いやりをもってすごしたりすることができましたか。	71.4	22.6	5.3	0.8	91.2	91.3

- ・項目1あいさつの指標が6ポイント下がった。昨年度と比べても落ちている。自分から進んであいさつをするということの意識が低くなっていると思われる。特にCの子どもがとでも増えている。来年度に向けてあいさつに対しての指導に手を入れていく必要がある。
- ・項目2「誰にでも」という点も同様で、Cの子が増えている。
- ・協力・思いやりという点では、昨年度より上がっており、本年度は意識できてきていると思われる。

*清明の子 3 について

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	くつのかかとをそろえていましたか。	59.1	29.5	8.3	3.0	86.2	90.3
2	学校の決まりや学級の約束をすすんで守ろうとしていましたか。	57.6	36.4	6.1	0.0	87.9	89.6

<考察>

- ・項目1くつをそろえることのポイントは若干下がった。くわしく見てみると、Aの子が前期に比べ10ポイント下がっている。清明小で大事にしている「あいさつ・返事・くつそろえ」を再度意識できるよう指導していく必要がある。
- ・項目2きまりを守って生活しようとする意識も下がったが、昨年度と比較すると若干増えている。

3 授業に関して

No.	評価項目	A	B	C	D	指標	R2前期
1	授業では、正しい姿勢で集中して取り組みましたか。	48.5	41.8	9.0	0.7	84.5	85.9
2	授業では、学級の友だちと話し合う活動ができましたか。	73.5	21.2	4.5	0.8	91.9	91.5
3	授業では、問題を解くときに友だちや先生の話をしっかり聞きながら、学習に取り組みましたか。	65.4	27.8	6.8	0.0	89.7	90.4
4	家では、進んで宿題をして、学年で決まった時間の家庭学習ができましたか。	68.4	22.6	7.5	1.5	89.5	93.6

<考察>

- ・項目1の正しい姿勢で授業に取り組んでいることのポイントは横ばいである。
- ・項目2のAの高ポイントを維持しているのは、授業の中に話し合いの活動を積極的に取り入れてきた成果だと考える。
- ・4の家庭学習は、Aの子が前期に比べて10ポイント以上大幅に下がっている。A・Bの子合わせると5ポイント下がっている。昨年度末と比べると指標としてはかなり高ポイントを維持しているが、今後の推移を見ていきたいところである。